

平成24年度  
実施事業

事務事業名	私立幼稚園教材教具整備事業補助金
-------	------------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	4	経済的負担の軽減の支援
主要な施策	1	①医療費、保育料、教育費等の支援
事務事業番号	006	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	幼稚園園児の保護者の負担を軽減し、幼稚園教育の充実を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	保護者が負担する園児の学習活動に必要な教材教具の購入に係る経費の一部を幼稚園の設置者が減免する場合、減免額の一部を補助する。 (※補助金の額は、予算の範囲内とし制度創設時から1人当たり4千円としている。)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	幼児教育のあり方、補助内容の見直しを検討する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市私立幼稚園教材教具費等補助金交付要綱

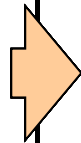
事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,568	2,492	2,740	2,740	2,740
事業費 合計			2,568	2,492	2,740	2,740	2,740

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 補助金交付対象児数	人	目標値	644	685	685	685	685
			実績値	642	623			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
補助の趣旨が私学振興、保護者の経済的負担の軽減の両面があり、適切な補助基準、補助金の支給方法等（園に対する一括支給）の検討が必要。	補助金の積算根拠、支給対象の明確化に向け制度の見直しを検討する。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 公立幼稚園の廃止に伴って創設された幼稚園振興策の一つである。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 公立幼稚園廃止にともない幼稚園協会、保護者から強い要望があった。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 園児1人当たりの単価削減は難しい。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 私立幼稚園の振興、保護者の経済負担の軽減の趣旨は達せられている。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>改善</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は公立幼稚園の廃止の際に私学振興、保護者の負担軽減として創設したところであるが、長期的な視野に立った幼児教育のあり方、私学振興について私立幼稚園協会と協議を行い見直しを進める。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>改善</b>	備考	担当の考えのとおり改善を行うこと。
-----------	----	-------------------

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>改善</b>	備考	担当の考えのとおり改善を行うこと。
-----------	----	-------------------

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)